

# お36回(復)釜ヶ崎夜間学校

「喜望の家」一階にて  
 6月11日 今晩の時は、「喜望の家」一階にて  
 6月11日 広い視野から日雇を考へよう

テーマ「仕事。今をせつこんなに少ない  
 ？」

今年度に入ってからというものの、今まで以上に仕事の量が少なくなっている。大変な時期だと思えます。夜間学校に集まってくる仲間たちもまず、「仕事が少ない」と口々に言っています。これから始まります。釜ヶ崎の街の中を見ても、風間からシノギが横行するやうで、「一一」にも不況が反映しているのがあります。

しかし、ぐちばかり言っている仕事方があるのでは、この機会に何故こんな「復」釜ヶ崎夜間学校とは――  
 我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活している中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を、皆の力で解決してい

「仕事が少ないのか」「一」にじっくり話し合ってみたらと思いい。今夜のテーマを設けました。

センターが出している「センターだより」にも、今年の4月は去年に比べ、現金が40%も少ないといっています。毎年来る年度末の仕事が4月にずれ込みますが、今年はばったりとやってくるりました。この状態が今も続いているのだから、苦しいのは当たり前です。

アメリカの圧力が、政府の右寄りになる。先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通じて学び考え合う自由な場です。  
 是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

♡ 6月の予定

- ※11日(木) 労働
- ※18日(木) 運営委員会
- ※25日(木) 釜ヶ崎の歴史

政策の表われか、今年から公共事業予算が大幅に削られていきます。そのために中小企業の倒産も増え、まわっています。釜にも仕事が少ないのではありません。アメリカから戦闘機二機を買っただけでも、釜に仕事をもってこいと云いたくりますが、防衛力強化は一部の大企業をもうけさせる手であって、我々労働者の生命を守ることはなりません。

口の政策によって、景気の良し悪しが決定され、それが日雇労働者の首を絞めることにもなる。この構造は一体何なのか？ ひいては日雇労働者の位置、あるいはそもそも日雇とは何なのかをこの機会に話し合えらうと思えます。ぜひ多くの仲間が参加して下さい。

# 第35回 夜間学校 報告 (6/4)

## テーマ 労災と職業病

今回は、労災と職業病について学びました。

### ● 労災について

現場でどんな小さなケガをした時にも、責任者に話し、現認書(五号用紙)に、必ず、ケガしている状態そのままを書く。

・西成の近くの病院に行きたい時には、6号用紙に記入する。(日本国中の病院にいける)

・コルセット・車椅子・松葉づえ・交通費を要求する時には、ワ号用紙に記入する。重症で寝たきりの場合は、基準局から、四千円よりてくる。差額は、会社にもってもらえばよい。

・あんま、指圧、針、などを受ける時にも、その費用をワ号用紙で請求すればよい。(一回につき五千円までならでる)

・休業保障をもらうには、医者と事業主の印はんが必要である。残業手当・交通費・弁当代、も含めて、請求する。

・事故をおこした当日の、デスク、まこうら3日間の、デスク、まこうら、4日めから、休業保障がてくる。

### ● 職業病

・取種によって、おこってくる病気があり、傷病手当がもらえる。日雇いの場合は、腰痛症が多いが、見分けがつきにくい。

※絶対に示談はやめた方がよい!

みんながつくるみんなの広場  
(仮称)釜ヶ崎夜間学校  
運営委員会準備会

萩の茶屋2の8の18・喜望の家内  
電話(一〇六)六四七・三九四六  
(毎週不旺日七時~十時の向に)

### 参加者からの投稿

焼酎と釜ヶ崎夜間学校

田中 寅

現在、私が最も楽しんでみているのは、釜ヶ崎夜間学校が終ってから、熱い頭のほとほりを冷やしながら、ゆづくりと焼酎を飲むことである。私は酒は全くと飲まず、焼酎かビールを飲むのだが……まあ、そんなことはどうでも良い。

此頃頃の釜ヶ崎のドヤは不景気で、たいがい空室が多く景気よく酔っぱらうものも少ないので静かである。私は静かな場所が好きである。静かにドヤの夜が深まって行く時刻に、当夜の釜ヶ崎夜間学校の勉強の内容などを振り返へりながら飲む焼酎は良い。

私には、そのような時が最も私が私自身で居られる時であるように思われる。「私は、今此処で焼酎を飲んでいる人間である。そして、それ以外の者ではない」という意識が、非常な充実感をもたせて浮んで来る。

そのような充実感はどこから来るのだろうか？、やはり夜間学校の内容と深くかかわっていると思う。今迄十数回夜間学校に出席して学んだことは何か？を振り返ってみよう。

夜間学校の内容の特徴のひとつに、その都度配布される様々の資料がある。これらの資料は或いは、常日頃私達アノコが仕事に出かけた先々で、お互いに会話を通じて交換しあっている情報と重なる部分がある。しかし、夜間学校の資料はそれよりも深く深い範囲に及んでいると言える。それらの資料を通じて学んだことは「自分自身について知る」とことである。「自分自身の現状を知る」とことである。このような「自己認識」が自由や解放への道筋には必要なのだろう。